

一歩

社会福祉法人 アルカディア
令和3年4月発行 第31号



今、オリンピック・パラリンピックに想いを馳せる

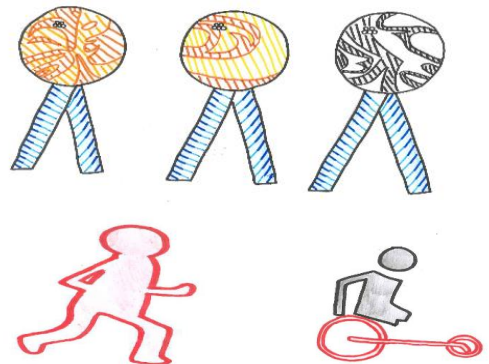


3月25日、聖火リレーが福島を皮切りに始まった。28日には群馬県を駆け抜けた。7月23日の開会式に向かって…。

少し前まではオリンピック・パラリンピック開催を巡って議論が活発に行われていたが、現在、ほとんどなされないまま進行している。〈ここが問題だ！〉。

だから、あえて私たち福祉法人には一見関係ないように思えるこのテーマを問うていくことにした。コロナ禍は未だ収まってはいない。むしろ、下止まりから拡大しているのは現状だ。

無観客で行われようとしているオリンピック・パラリンピックは赤字必至だろう。多額の税金が既に使われている。にもかかわらず、議論の内容、開催の基準などは明らかにされていない。メディアも避けている気配がする。



法人はオリンピック・パラリンピック開催に〈賛成か反対か〉を問うつもりはない。ただ、一市民として国・東京都は、国民が諸手をあげて賛成し、盛り上がる気持ちを持てるような説明をしてほしいと思う。その義務があるのではなからうか。

パラリンピックについて

今回は、オリンピック・パラリンピックについての文章を書かせていただく機会となり、新型コロナウイルスの影響で、オリンピック・パラリンピックの開催については賛否がある中だと思いますが、コロナの視点ではなく障がい福祉にも直結していると考えられる「パラリンピック」に焦点を置いて書かせて頂きます。

「パラリンピックとは？」

「障がいのあるトップアスリートが出場できる世界最高峰の国際競技大会です。夏季大会と冬季大会があり、国際パラリンピック委員会（IPC）は、大会を通じ共生社会の実現を促進することを目指しています。」としています。



「パラリンピックの簡単な歴史」

- ・障がいのある人々が身体運動を行っていたという記録は紀元前から見られ、「治療体操」としてスポーツが行われるようになったという記録もある
- ・障がい当事者自身が組織を作り自発的にスポーツ活動をはじめたのは19世紀以降
- ・1960年のローマ大会が第1回パラリンピックと位置づけられている

「パラリンピックの価値」

「国際パラリンピック委員会（IPC）は、パラリンピアン（出場経験のある選手、元選手の総称）たちに秘められた力こそが、パラリンピックの象徴であるとし、以下の四つの価値を重視しています。」

- 勇気**
(マイナスの感情に向き合い、乗り越えようと思える精神力)
- 強い意志**
(困難があっても、諦めず限界を突破しようとする力)
- インスピレーション**
(人の心を揺さぶり、駆り立てる力)
- 公平**
(多様性を認め、創意工夫をすれば、誰もが同じスタートラインに立てることを気づかせる力)

※引用 日本パラリンピック協会

「最後に」

パラリンピックは、スポーツの祭典を通じて、障がい者の普及啓発、共生社会の実現を目指しているということが明確となっています。今後パラリンピックは、精神障がい・知的障がい者が活躍する競技が増える？健常者と障がい者が一緒に競う？普及啓発が進んだら、パラリンピックの名称も変わる？など、様々なことが考えられ、期待されるのではないかと思います。

パラリンピックについては知識が少ない中、「日本パラリンピック協会」のホームページを参考にさせて頂き、色々なことを考える良い機会となりました。見たことない方は、ぜひホームページをご覧ください。

現状では、「パラリンピック」の認知度も上がってきており、皆様も観たことがあると思いますが、「パラリンピックのスポーツをやってみよう」と、学童期の世代がスポーツをしている日本のコマーシャルもあり、パラリンピックに触れる機会は多くなっていると感じます。

障がい当事者が考えた四つの価値だと分かるワードになっていると思います。共生社会実現のためにも大切なワードであると感じますが、障がい当事者の方々でも賛否があるワードではないか？と感じる部分もあります。このワードについては、法人内でも議論を重ねたいと思う大切なワードだと思います。

話がそれてしまうかもしれませんが、当法人のある職員が、「障がい福祉サービス（グループホーム、就労施設等）があること自体が障がい者を区別してしまっている。」と発言していました。確かに、共生社会であれば「障がい」にフォーカスを当てている中では、壁となってしまう部分はあると思いますが…現実には福祉サービスは必要であって…未だに考えはまとまりません。



オリンピック・パラリンピックへのインタビュー①



利用者、アルカディアスタッフにオリンピック・パラリンピックについて感想を聞いたところ、いろいろな声が出ました。

- 無観客でもやるなら観てみたい。特に自分はサッカーが好きなので観たい。
- プログラムを休んでもオリンピックを観てみたい。
- コロナも確かにあるけど、開催して欲しい。特にパラリンピックで車いすバスケットが観たい。あとは義足の人の陸上とかを観たい。
- オリンピックの曲を桑田佳祐さんに頼んでいたとニュースを観たので桑田佳祐さんの曲を聴きたいからオリンピックを開催して欲しい。
- テレビ観戦で楽しめたらいいと思っている。ルールが簡単な競技だと盛り上がる。
- 日本は中々メダルがとれない。たくさん取れたらいい。
- 東京でやってもらいたい。男子マラソンが好きなのでメダルを取ってもらいたい。箱根駅伝で活躍した選手も多いので楽しみ。
- コロナで一年延長になって最後、良い結果で終わればいいと思う。
- コロナで大変な世の中ですが、だからこそ、楽しいオリンピックで世間を盛り上げてほしいと思っています。
- コロナウイルスが蔓延している世の中で、開催中に取られる感染症対策は不透明であり、その上国民に対しての説明が不十分。このご時世にも関わらず、無理矢理開催に向けて話を進めている印象を受けてしまい、一人の国民として納得できない。
- テレビでオリンピック特集等が流れているのを観たが、つまらない。最近はそのような番組が放送されていても、観もしない。興味が無いが、世間的には盛り上がっているのだから、周囲には興味がないとは言えずにいる。でも実際に開催されたら、自分は現地に行ったりはしないけど、時間があるときにテレビ放映を観ながら応援したいという気持ちはある。
- 正直深く関心があるわけではなく、昨年からなんとなくニュースを観ている程度だが、コロナ以外にも水質汚染・酷暑対策等、様々な課題が列挙されている中で、事態は前進している印象を受けない。国民に歓迎されていない中で無理に強行するものでもないように思ってしまうが、一方この日のために懸命に努力を重ねてきた、アスリート達を応援したい気持ちもある。あらゆる問題点に決着がついた上で、誰にとっても幸福なスポーツの祭典を望みたい。
- コロナの影響で日本に他の国の選手が来られるのか、工事や道路の整備などが間に合うのか心配。オリンピック・パラリンピックは選手や開催側のものだと思うので自分は観ない。
オリンピック・パラリンピックは参加することに意味があると思う。観客が来られるのかがとにかく心配。
- 見に行きたいな。職員さん連れて行ってもらえないかな。一人じゃ行けないからな。





- 私は、コロナ禍でのオリンピック・パラリンピック開催について、選手のためにも開催をしてほしいと思っています。開催することで、感染拡大のリスクは確かにあると思います。しかし、選手たちのオリンピック出場に至るまでの努力や多くの試練を乗り越えてきた軌跡は誰にも真似できることではなく、強い意志があったからこそ日本代表という立場までたどり着くことができたのだと思います。そのため、オリンピック・パラリンピックの開催をすることで、選手たちの強い思いを叶えるべきではないかと思っています。コロナという言葉が毎日飛び交い、暗い状況にある日本をオリンピック・パラリンピックの開催により、少しでも明るい状況に出来るのではないかと思っています。もちろん感染予防などの課題はたくさんありますが、逆にこのコロナ禍といった中でのオリンピック・パラリンピックの開催をすることが日本の歴史にも残るとも思います。テレビ越しでも選手たちの熱い思いを感じ取ることはできるのではないのでしょうか。
- R3.3.25に福島県から聖火リレーがスタートしました。
無観客での開催とのことだが、これから各国より選手、大会関係者が入国してきます。
国内では第4波が懸念されるコロナ禍において、感染者の増加は歴然として状況かと思われま。それなのにやるの…？との思いはあります。ただ、スポ根物語が好きで私は、アスリートがこの大会のために費やした時間や懸ける思いを全身で表現している姿を見ることで胸が熱くなる感動を、体感することで力を頂くことも楽しみかなと思っている今日この頃です。
- 開催は賛成。だが、こういった場で賛成というと反対側の意見と対立してしまわないか不安もある。もちろん反対側の意見があることもごく自然なことだということも了解している。
- 開催してほしい。普段からスポーツ全般が好きで、オリンピック競技の中では、特にサッカーや野球を注目して観たい。暇しているので、エンターテインメントとして観たい。
- 特に注目している協議はないがオリンピックというものに興味がある。
コロナ禍でなければ友人と現地で見たかった。

編集後記

今回、オリンピック・パラリンピックを取り上げた。法人内でも様々な意見があった。ただ、<社会のあらゆる出来事>は、どこか<福祉の世界>とつながっている。この考え方は福祉法人として、<忘れてはならないこと>という背景からテーマと設定した。

<復興オリンピック・パラリンピック>と銘打つなら、東日本大震災で被災した人たちを開会式や試合に無料で招待してはどうだろうか。こうした配慮があれば、国民は納得し、関心を持ち、大いに盛り上がるだろうと思うのだ…。これ、まじめな意見です。

読者の皆さまは、どう考えられるのでしょうか。ご意見をうかがいたいところです。

編集委員